

テーマは「農業産出額（令和3年）」



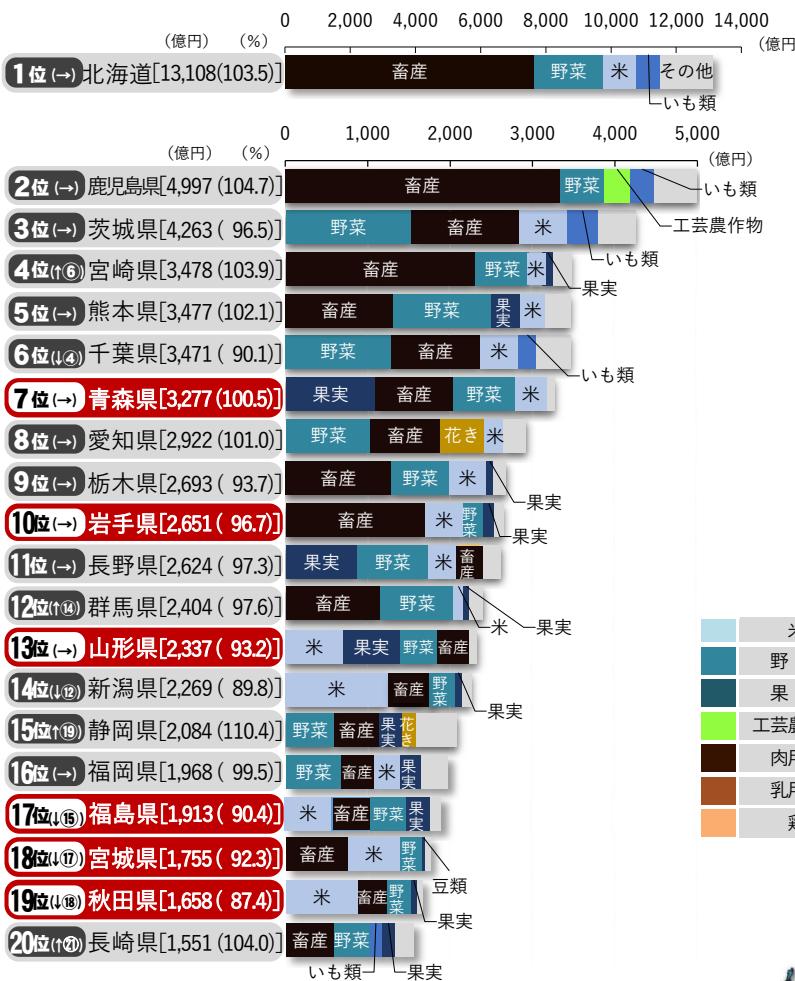
青森県・岩手県がトップ10にランクイン

令和3年の都道府県別農業産出額をみると、青森県が東北では最も高く、3,277億円で全国7位、青森県以外も岩手県の10位をはじめ、残る4県が20位以内にランクインしています（図1）。

各都道府県について農業産出額が最も高い部門（1位部門）をみると、野菜が22都府県で最も多く、次いで米が13県となっています。

東北では青森県は果実、岩手県は鶏、残る4県は米が1位部門となっています（図2）。

図1 農業産出額の上位20都道府県（令和3年）



※ 順位横の（ ）内矢印は前年の全国順位との比較（順位に変動があった場合は前年順位を併記）、割合は対前年比

畜産は肉用牛、乳用牛、豚、鶏、その他の畜産物の各部門の合計（以下同じ。）

グラフは、産出額が多い上位4部門順（その他を除く。）

表1 東北各県の農業産出額上位10品目と全国順位（令和3年）

順位	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県
1	りんご 1 1,027	プロイラー 3 621	米 5 634	米 3 876	米 4 701	米 7 574
2	米 12 389	米 9 460	肉用牛 7 264	豚 12 166	とうとう 1 319	もも 2 146
3	プロイラー 4 227	豚 7 318	鶏卵 16 157	鶏卵 24 92	ぶどう 4 148	鶏卵 18 138
4	鶏卵 9 223	肉用牛 5 280	豚 16 129	肉用牛 32 52	豚 13 137	肉用牛 17 133
5	豚 11 221	生乳 4 234	生乳 10 122	りんご 6 38	肉用牛 16 133	きゅうり 3 98
6	にんにく 1 207	鶏卵 15 178	いちご 9 64	ねぎ 13 32	りんご 4 89	豚 21 82
7	肉用牛 14 161	りんご 3 107	プロイラー 13 58	生乳 36 25	生乳 21 71	トマト 6 82
8	やまいの 2 124	葉たばこ 3 33	大豆 2 32	すいか 8 25	すいか 3 70	生乳 20 77
9	ごぼう 1 82	ひな 2 30	トマト 20 32	トマト 27 23	西洋なし 1 58	日本なし 6 41
10	生乳 19 78	きゅうり 14 29	ねぎ 14 31	えだまめ 7 22	もも 6 48	りんご 5 41

※ 赤字は全国順位が5位以内の品目



Vol.14 [令和5年2月]

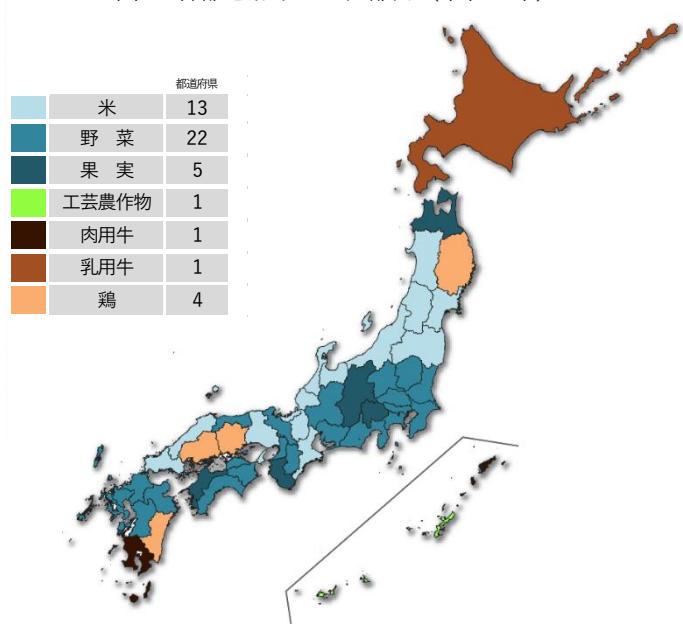
「まふナビ東北」では、農林水産省が実施している統計調査結果から、「東北地域」にクローズアップした情報をお届けします。

[発行]

農林水産省 東北農政局統計部

都道府県別農業産出額は、都道府県を推計単位とし、品目ごとの生産数量に、品目ごとの農家庭先販売価格（消費税を含む。）を乗じて推計したものです。

図2 各都道府県の1位部門（令和3年）



東北各県の上位10品目をみると、青森県のりんご・んにく・ごぼう、山形県のおうとう・西洋なしは前年に引き続き全国1位品目となつたほか、多数の品目が全国上位にランクインしています（表1）。



部門別上位都道府県に米が5県、果実が3県などランクイン

部門別に産出額上位 10 都道府県をみると、米では全国 3 位の秋田県を含む 5 県が、野菜では青森県が、果実では全国 1 位の青森県を含む 3 県が東北からランクイン。畜産では、肉用牛、乳用牛及び鶏の各部門で 2 県が、豚では 1 県がランクインしており、岩手県は畜産 4 部門全てでランクインしています（表 2）。

表 2 主要部門の農業産出額上位 10 都道府県（令和 3 年）

順位	米	野菜	果実	肉用牛	乳用牛	豚	鶏
1	新潟県 (→) 1,252	北海道 (→) 2,094	青森県 (→) 1,094	鹿児島県 (→) 1,240	北海道 (→) 4,976	鹿児島県 (→) 900	鹿児島県 (→) 1,084
2	北海道 (→) 1,041	茨城県 (→) 1,530	長野県 (→) 870	北海道 (→) 1,131	栃木県 (→) 465	宮崎県 (→) 518	宮崎県 (→) 875
3	秋田県 (→) 876	千葉県 (→) 1,280	和歌山県 (→) 790	宮崎県 (→) 815	熊本県 (→) 341	北海道 (→) 512	岩手県 (→) 836
4	山形県 (→) 701	熊本県 (→) 1,186	山梨県 (↑⑤) 789	熊本県 (→) 454	岩手県 (→) 258	群馬県 (→) 468	茨城県 (→) 545
5	宮城県 (→) 634	愛知県 (→) 1,031	山形県 (↓④) 694	岩手県 (→) 280	千葉県 (↑⑥) 257	千葉県 (→) 393	青森県 (→) 464
6	茨城県 (↑⑦) 596	群馬県 (→) 891	愛媛県 (→) 553	長崎県 (↑⑦) 265	群馬県 (↓⑤) 257	茨城県 (→) 373	岡山県 (↑⑧) 408
7	福島県 (↓⑥) 574	長野県 (→) 866	熊本県 (→) 362	宮城県 (↓⑥) 264	茨城県 (↑⑧) 217	岩手県 (↑⑧) 318	北海道 (→) 383
8	千葉県 (↑⑨) 466	青森県 (↑⑨) 753	福島県 (→) 297	栃木県 (→) 243	愛知県 (↓⑦) 206	栃木県 (↓⑦) 307	兵庫県 (↑⑨) 329
9	岩手県 (↑⑩) 460	埼玉県 (↓⑧) 743	岡山県 (→) 284	沖縄県 (→) 209	岡山県 (→) 148	熊本県 (↑⑩) 255	千葉県 (↓⑥) 326
10	栃木県 (↓⑧) 453	栃木県 (→) 707	静岡県 (→) 282	佐賀県 (↑⑪) 181	宮城県 (→) 134	愛知県 (↓⑨) 228	広島県 (→) 309

※ () 内矢印は前年の全国順位との比較（順位に変動があった場合は前年順位を併記）。赤字は該当の東北管内の県



東北の農業産出額減少の主な要因は米 —令和 3 年の特徴—

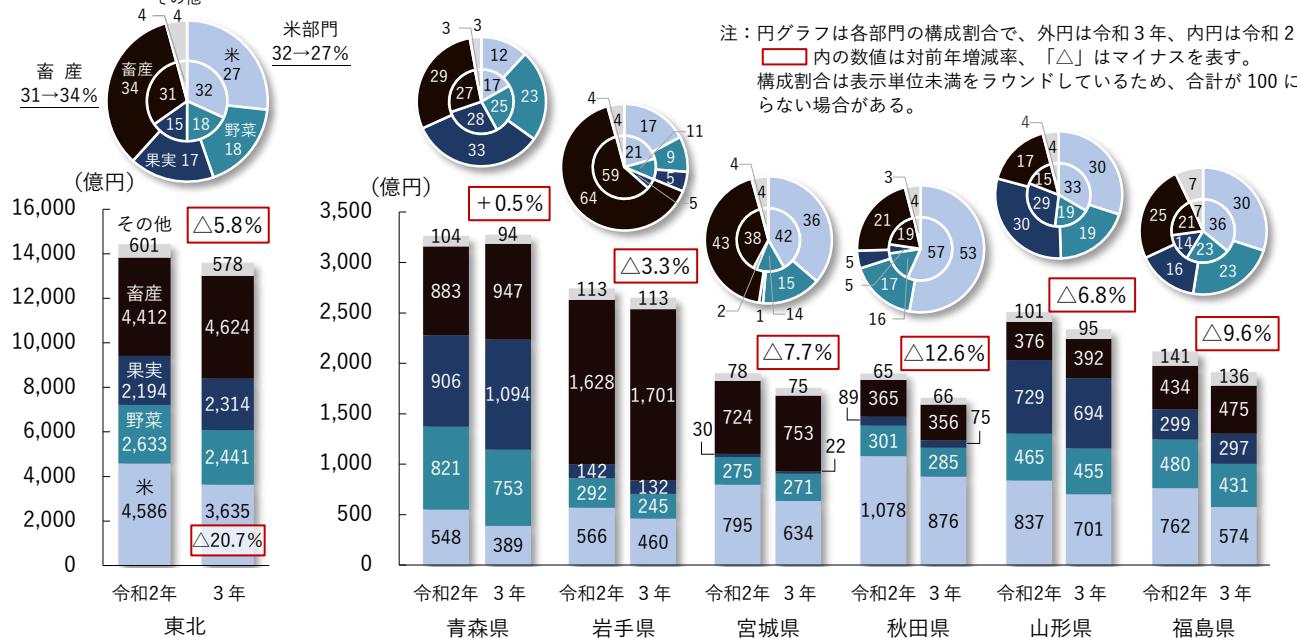
東北の令和 3 年農業産出額は 1 兆 3,592 億円となり、前年に比べ 834 億円減少（△5.8%）しました。

増減要因を部門別にみると、果実部門では、主にりんごの生産量の減少から価格が大きく上昇し 120 億円増加（+5.5%）、畜産のうち、肉用牛部門では、需要回復による価格の上昇から 85 億円増加（+9.1%）、鶏部門では、主に鶏卵の全国的な生産量減少による価格の上昇から 191 億円増加（+11.6%）した一方、米部門で、作付面積の減少により生産量が減少したことに加え、需要の減少等により主食用米の取引価格が低下したため、951 億円の大幅な減少（△20.7%）となり、このことが産出額減少の大きな要因と考えられます。

東北各県の動きを総合的にみると、果実部門のウエイトが高い青森県の産出額は前年に比べ微増、残る 5 県は減少しており、特に米部門のウエイトが高い秋田県の減少率は△12.6% と最も高く、米部門の大幅な減少をほかの増加部門がどこまで補うかがポイントとなっています。

また、このことは主要部門の構成割合にも影響し、東北全体と宮城県では前年 1 位だった米部門を畜産が上回っています（図 3）。

図 3 主要部門別農業産出額及び構成割合（令和 2・3 年、東北、東北 6 県）



-お問合せ- 農林水産省東北農政局統計部統計企画課 電話：022-745-9378

農業産出額の詳しい情報（公表資料）はこちらからご覧いただけます。

農林水産省ホームページ https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/nougyou_sansyuu/index.html#y2

東北農政局ホームページ <https://www.maff.go.jp/tohoku/stinfo/kekka/>

